

2017年3月期連結決算概要

2017年4月28日

豊田通商株式会社
(単位: 億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	18,628	18,064	21,410	21,093
営業利益	300	292	463	410
経常利益	433	391	422	335
親会社帰属純利益	213	206	215	390

連結経営成績	当期	前期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	79,196	81,702	▲ 2,506	▲3.1%
売上総利益	5,788	6,160	▲ 372	▲6.0%
販売費及び一般管理費	4,322	4,757	▲ 435	—
営業利益	1,466	1,402	64	4.5%
利息収支	▲ 183	▲ 201	18	—
受取配当金	187	198	▲ 11	—
持分法による投資損益	102	▲ 56	158	—
その他	10	▲ 62	72	—
経常利益	1,582	1,280	302	23.6%
特別損益	▲ 102	▲ 815	713	—
税金等調整前当期純利益	1,480	465	1,015	218.1%
法人税等	250	697	▲ 447	—
当期純利益又は損失(▲)	1,229	▲ 232	1,461	—
非支配株主に帰属する当期純利益	203	204	▲ 1	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失(▲)	1,025	▲ 437	1,462	—

主な増減要因
<p>【売上高】▲2,506億円 石油製品等の取扱い増加により、機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部を中心に増加した一方、円高による為替影響等により減少</p> <p>【販売費及び一般管理費】▲435億円 円高による為替影響及びのれん償却費の減少等による</p> <p>【持分法による投資損益】+158億円 主に金属本部及び化学品・エレクトロニクス本部で増加</p> <p>【その他営業外損益】+72億円 主に為替差損益の良化</p> <p>【特別損益】+713億円 主に減損損失の減少による</p>

連結財政状態	当期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率
総資産	40,968	39,521	1,447	3.7%
(流動資産)	25,339	24,258	1,081	4.5%
(投資有価証券・出資金)	5,680	5,309	371	7.0%
(その他の固定資産)	9,948	9,952	▲ 4	▲0.0%
純資産	11,519	10,557	962	9.1%
有利子負債(NET)	10,502	11,027	▲ 525	▲4.8%
D E R (NET)	1.1	1.2	▲ 0.1	—
連結子会社数	731	698	33	—
持分法適用会社数	243	233	10	—

主な増減要因
<p>【流動資産】+1,081億円 ・現預金の増加 +682億円 ・売上債権の増加 +462億円</p> <p>【投資有価証券・出資金】+371億円 ・主に時価の上昇による増加</p> <p>【純資産】+962億円 ・利益剰余金 +803億円 (親会社株主に帰属する当期純利益 +1,025億円、配当金 ▲218億円等) ・有価証券評価差額金 +334億円 ・繰延ヘッジ損益 +125億円 ・為替換算調整勘定 ▲317億円</p>

連結キャッシュ・フロー	当期	前期	当期の主な要因	
営業CF	1,937	3,083	当期純利益による	
投資CF	▲ 1,304	▲ 1,708	有形固定資産の取得	
差引:フリーCF	633	1,375		
財務CF	▲ 283	▲ 2,252	配当金の支払い	

商品本部別 連結売上高・営業利益	当期	前期	前期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く		主な増減要因
					増減額	増減率	
※上段: 売上高、下段: 営業利益							
金属	17,226	18,174	▲ 948	▲ 1,023	75	0.4%	【売上高・営業利益】 市況の下落の一方で自動車生産台数増加等により増収増益
グローバル部品・ロジスティクス	416	374	42	▲ 30	72	21.0%	【売上高・営業利益】 海外での自動車部品取扱い増加により増収増益
自動車	9,471	9,990	▲ 519	▲ 1,010	491	5.5%	【売上高・営業利益】 単体の輸出及び海外自動車販売会社の取扱台数減少等により減収減益
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	208	216	▲ 8	▲ 20	12	6.0%	【売上高】 石油製品の取扱い増加等により増収
化学品・エレクトロニクス	11,469	12,523	▲ 1,054	▲ 1,025	▲ 29	▲0.2%	【営業利益】 営業外為替差損益との入繰りによる影響等
* 食料・生活産業	261	379	▲ 118	▲ 38	▲ 80	▲23.6%	【売上高】 エレクトロニクス関連取扱い減少等により減収
合計	18,516	16,003	2,513	▲ 680	3,193	20.8%	【営業利益】 のれん償却費の減少及び前期たな卸資産の評価損影響等により増益
	201	213	▲ 12	▲ 3	▲ 9	▲4.0%	【売上高】 輸入及び海外での穀物取扱い減少等により減収
	17,627	19,237	▲ 1,610	▲ 981	▲ 629	▲3.4%	【営業利益】 のれん償却費の減少及び営業外為替差損益との入繰りによる影響等により増益
	370	249	121	▲ 19	140	60.7%	
	4,840	5,742	▲ 902	▲ 256	▲ 646	▲11.8%	
	101	86	15	▲ 8	23	30.0%	
	79,196	81,702	▲ 2,506	▲ 4,978	2,472	3.2%	
	1,466	1,402	64	▲ 106	170	13.1%	

1株当たり配当金	来期(予想)	当期	前期
中間	39円	31円	31円
年間	78円	70円(予定)	62円
配当性向(連結)	25.0%	20.1%	—

当期の配当性向はのれん償却前の数値を記載しております。

連結業績予想	来期予想
売上総利益	5,670
営業活動に係る利益	1,600
税引前利益	1,820
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,100

※ 当社は2017年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際会計基準(IFRS)を任意適用いたします。このため、2018年3月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しております。

本部別	当期	前期	当期の主な要因	
			増減額	増減率
金属	870	260		
グローバル部品・ロジスティクス	670	160		
自動車	770	160		
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	160	750		
化学品・エレクトロニクス	180	950		
食料・生活産業	450	250		
* アフリカ	55	1,180		
	1,180	65		

※ 上段: 売上総利益
下段: 親会社の所有者に帰属する当期利益

* 2017年4月1日より、各商品本部のアフリカ関連ビジネスを統合し、アフリカ本部を新設しております。

主要指標推移	当期	前期		
為替	円/米ドル	平均	108	120
		期末	112	113
	円/ユーロ	平均	119	133
		期末	120	128
金利	円TIBOR3M平均	0.06%	0.16%	
	米ドルLIBOR3M平均	0.86%	0.40%	
トバイ原油(米ドル/bbl)	47	46		
シカゴコーン(セント/Bushel)	358	371		